

横浜市PFI事業進捗状況等確認調書 要約【修繕費累計額】

資料1-3

(単位:千円)

事業名	単年度(令和6年度)				差額発生理由	事業実施期間 累計				事業全体期間			
	計画値 [契約時]	計画値 [年度当初]	実績値	差額 (実績値-計画値 [年度当初])		維持管理・運営 累計期間	計画値 [契約時]	累計 実績値	差額 (実績値-計画値 [契約時])	維持管理・運営 全体期間	全体計画値 (最新値)	修繕 進捗率	長期修繕計画の進捗状況
① 横浜市環境創造局 北部汚泥資源化センター消化ガス発電設備整備事業	108,214	108,214	113,236	5,022	委託契約の改定による増	H21～R6年度 (約16年間)	1,789,889	1,794,911	5,022	H21～R11年度 (約21年間)	2,327,956	77.1%	2、4、5号機の総運転時間は約100,000時間に到達しました。1号機(6月)、3号機(4月)のF点検を計画通り実施しました。
② 横浜市瀬谷区総合庁舎及び二ツ橋公園整備事業	13,368	12,843	12,843	0	—	H23～R6年度 (約14年間)	339,773	326,430	▲ 13,343	H23～R7年度 (約15年間)	326,430	100.0%	・事業全体を通しての計画修繕により、施設利用者に大きな影響が無いように予定通り取り組んでいる。 ・令和6年度は、部分修繕を計画通り実施し、突発的な設備不具合に対応した。
③ 川井浄水場再整備事業	320,871	411,673	323,206	▲ 88,467	修繕計画の見直し、物価改定による減	H26～R6年度 (約11年間)	1,370,440	1,359,929	▲ 10,511	H26～R15年度 (約20年間)	3,020,167	45.0%	・事業全体を通して、突発的な修繕はなく、一部見直しを行った長期修繕計画に基づき、予定通り進捗している。
④ 戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業	29,050	28,955	28,955	0	—	H25～R6年度 (約12年間)	474,596	459,237	▲ 15,359	H25～R8年度 (約14年間)	612,693	75.0%	・年度業務計画に基づき、計画通り業務を遂行している。長期修繕計画は一部年度が前後する修繕もあるが、費用のバランスを取りながら、事業全体額として大きな影響が出ないように実施している。 ・事業最終年度で実施する必要がある修繕の確認を、令和7年度中に実施予定。
⑤ 横浜市南部汚泥資源化センター下水汚泥燃料化事業	69,530	76,828	76,828	0	—	H28～R6年度 (約9年間)	710,390	751,446	41,056	H28～R17年度 (約20年間)	2,280,901	32.9%	・日々の維持管理・点検業務や設備の故障状況を踏まえ、追加修繕の必要性の判断、計画修繕における各設備の優先度を考慮し、当初計画額と大きな差が無いよう取り組んでいます。
⑥ みなとみらい21中央地区20街区MICE施設整備事業	98,274	105,441	106,105	664	物価変動に伴う改定による増	R2～R6年度 (約5年間)	466,801	489,519	22,718	R2～R21年度 (約20年間)	1,997,004	24.5%	・火災受信盤等の防災関連のUPS/バッテリー及び各電気室用UPS本体(バッテリーを含む)の交換を実施。 ・その他の設備の状態は良好で計画修繕の必要性が無い状況であったため、令和6年度に計画していた修繕で実施したものは無かった。現在の状況を踏まえて長期修繕計画を見直し中。
⑦ 横浜市北部汚泥資源化センター 汚泥処理・有効利用事業	17,920	20,320	20,320	0	—	H29～R6年度 (約8年間)	133,480	143,880	10,400	H29～R20年度 (約22年間)	428,360	33.6%	・事業期間が約1/3経過したなか、現状の修繕実施額も全体修繕計画額の約1/3という結果を受け、概ね予定通り進捗している。
⑧ みなとみらい21中央地区20街区MICE施設運営事業	40,000	5,400	7,053	1,653	音響設備等の修繕による増	R2～R6年度 (約5年間)	140,000	15,259	▲ 124,741	R2～R21年度 (約20年間)	2,640,000	0.6%	・当初、吊物機構、照明、映像・音響設備の部分修繕・更新を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で稼働率が低く、劣化もしていないため、修繕は不要と判断し実施していない。 ・そのうえで、先送りする修繕の費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないように令和7年度以降の長期修繕計画の見直しを行う予定。
⑨ 横浜文化体育館再整備事業	23,360	23,360	0	▲ 23,360	次年度繰越対応のため(竣工して築年数が浅いため、瑕疵修繕等の対応もあり、計画修繕案件が発生していないことによる)	R2～R6年度 (約5年間)	25,031	0	▲ 25,031	R2～R20年度 (約19年間)	777,144	0.0%	・竣工して築年数が浅く、施設の状態が良好に保たれており、計画修繕の必要がない状況であったため、計画修繕を先送りするとともに、事業全体で費用のバランスを取りながら、大きな影響が生じないように取り組んでいる。
⑩ 上郷・森の家改修運営事業	106,800	125,021	82,233	▲ 42,788	現状機器の劣化度等を調査し、修繕内容や時期の見直しにより長期修繕計画の変更を行い、当初実施予定の11項目のうち、7項目について実施。	R元～R6年度 (約6年間)	118,500	99,726	▲ 18,774	R元～R16年度 (約16年間)	372,221	26.8%	・長期修繕については、現状機器の劣化度等を調査し、修繕内容や時期の見直しにより長期修繕計画の変更を行い、当初実施予定の11項目のうち、7項目について実施。残り4項目については、設備点検の結果を踏まえ、事業期間中に適切な時期を選定し実施する。 ・突発的な修繕としては、消防定期点検による不具合指摘による誘導灯の交換作業、駐車場ゲートの新硬貨・新紙幣対応のための作業があった。 ・その他機器の老朽化に伴う修繕・交換作業は営業に支障がないよう対応した。
⑪ みなとみらい公共駐車場運営事業	85,960	75,300	69,676	▲ 5,624	修繕計画の見直しにより先送りにした修繕や、想定より費用を抑えることができた修繕があったことによる減	R3～R6年度 (約4年間)	169,416	133,005	▲ 36,411	R3～R21年度 (約19年間)	1,284,452	10.4%	・令和6年度は長期修繕計画に基づき防犯カメラ通信配線引換、路面補修、一斉開放弁交換工事、並びにトイレ汚水配管更新を実施した。 ・その他に駐車場精算機のキャッシュレス化や自動二輪車用精算機の更新、駐車場内サイン更新等による利便性向上に取り組んだ。 ・施設が古く、老朽化しているため突発的な修繕が多く、当初予定していた計画通りに実施することが厳しい状況ではある。 ・施設・設備の状況を確認したうえで、突発的な修繕と計画修繕の先送りにより、費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないよう計画を随時見直していく。
⑫ 本牧市民プール再整備事業	300	300	0	▲ 300	施設引渡し後、運営開始2年目のため、一部プールサイド遮熱塗装等の修繕を行ったが、施工保証として実施したため、修繕費としての費用発生はなし	R5～R6年度 (約2年間)	500	0	▲ 500	R5～R14年度 (約10年間)	2,900	0.0%	・施設引渡し後、運営開始2年目のため、一部プールサイド遮熱塗装等の修繕を行ったが、施工保証として修繕したため、修繕費としての費用発生はなし。
⑬ 環状3号線(杉田港南台地区)電線共同溝PFI事業	建設期間中のため、修繕費は発生せず												